
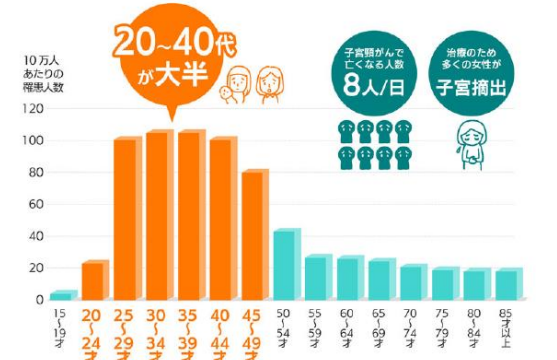


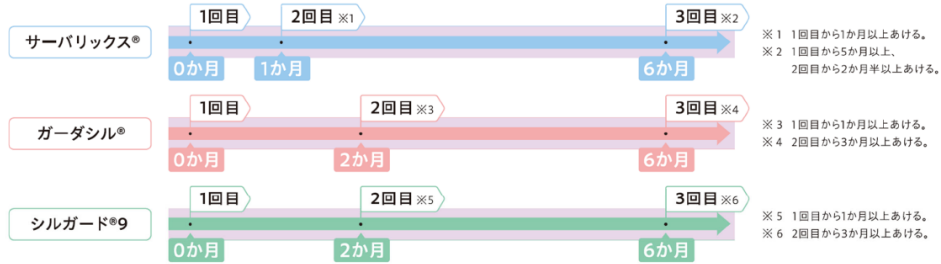
衛生委員会議事録（83回）

日時	2024年9月12日 15:00	
場所	ビデオ会議	
出席者	委員長	-
	産業医	諏訪内医師
	衛生管理者	人事総務部 並木/坂倉
	事務局	人事総務部 並木
	委員	情報システム部 原 店舗マネジメント部 永田 教育企画部 湯田
議題	<p style="text-align: center;">＜HPV ワクチンについて＞</p> <div style="text-align: center;"> <p>子宮頸がんの 主なリスク = HPV</p>  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p style="text-align: center;">20~40代 が大半</p> <p style="text-align: center;">子宮頸がんでは 8人/日</p> <p style="text-align: center;">治療のため 多くの女性が 子宮摘出</p> </div> <p>日本で3時間に1人が亡くなっています。 1年で1万人の方が子宮摘出をされています。 女性の4%が円錐切除術を行っています。</p>	

キャッチアップ接種は2025/3まで

- ・平成9年度生まれ～平成19年度生まれ（誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日）の女性
- ・過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない

一般的な接種スケジュール



※ いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。
 ※ シルガード@9は、15歳未満はスケジュールが異なります。

会社で取り組めること

- ・現在会社で働いている20代30代の方の接種率は低い。
- ・働き盛りの方を失わないためにも、まずはHPVワクチン、子宮頸がんについて定期的に正しい知識を伝える。
- ・ワクチンを打っていてもいなくても、子宮頸がんの健診を受ける必要について伝える。
- ・一方、健診だけでは防げない事実もある。早産流産のリスクの上昇、陽性の場合心配が続く。
- ・男性についても知識を伝える。陰茎がん、尖圭コンジローマ、中咽頭癌、肛門がんなど。中咽頭癌は男性に多いがんで実は女性の子宮頸がんよりも数は多い。打つことで、パートナーへの感染も防げる。
- ・オーストラリアでは88%、アメリカでは64%の男性がHPVワクチンを接種している。

是非、積極的な接種を心がけましょう。

男性への接種も 世界で広がっている



高校生くらいの男子が打つことにより、女子への感染も抑えられる。

産婦人科じゃなくても打てる。
小児科を始め、
いろいろな科で対応可能。

接種可能医療機関リストを
自治体が作っている事が多い